



## コウノトリ放鳥・生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営、補助			経過年数									
補助率	10/10			9 年									
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]						
[事業目的]													
自然再生のシンボルであるコウノトリを越前市白山地区で引き続き飼育し、幼鳥を巣立ちの時期に合わせて放鳥するとともに、県内全域に生息環境を整備する。													
[事業内容]													
<p>(1) コウノトリ飼育・繁殖 つがいのコウノトリを越前市白山地区において飼育・繁殖させ、生まれた幼鳥を放鳥し福井に野外定着させる。 外部委託による専任飼育員による継続的な飼育を行い、効果的に飼育・繁殖を行う。 産卵期から巣立ち期（4月頃～8月頃）における見守り体制を強化するため、警備員を配置する。</p> <p>(2) 放鳥個体の追跡の実施 放鳥したコウノトリに装着したGPS発信機を用いて、飛来位置を追跡する。</p> <p>(3) コウノトリ定着推進会議の開催 コウノトリ定着推進会議を開催し、コウノトリの野外定着に向けた対策検討や放鳥後の生態調査を報告・検証する。</p> <p>(4) 水田ビオトープの設置 コウノトリの生息環境整備を目的とした水田ビオトープを設置する</p>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		越前市においては、餌場環境の整備と地域住民への普及啓発に努め、またコウノトリ支援本部に飼育と環境整備に関わる職員を配置する。					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
越前市白山地区にて野外コウノトリが産卵（孵化せず） 托卵により生まれたコウノトリ2羽を9月に放鳥								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## コウノトリ放鳥・生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	24,309			(繰入) 24,309				自然保護基金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		21,064	20,264	18,840	22,892	24,309							
2月現計予算額の推移		21,064	20,264	14,840	18,383								
決算額の推移		21,056	17,152	12,980									
前年度までの 主な増減理由	H27～ 県職員が行ってきた飼育を外部委託による飼育に変更 産卵期以降の見守り体制を強化するため、警備員を配置 H29～ 水鳥が飛来する地域を対象として、ビオトープを整備												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	コウノトリの放鳥個体数 (目標)		(2)	(3)	(3)	(2)	H30までに10羽						
	実績		2	2	2								
活動指標	ビオトープ設置個所数 (目標)				(30)	(30)	H30までに6地区で各10か所ずつ計60か所 (30か所/年)						
	実績												
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

## 三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎		
事業主体		三方五湖自然再生協議会、北潟湖の自然再生に関する協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法		負担金											□ 法定受託事務	■ その他
補助率		1/4												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]							
[事業目的]														
三方五湖では、「三方五湖自然再生協議会（平成23年5月設立）」、北潟湖では「北潟湖の自然再生に関する協議会（平成25年3月設立）」において、地元市町と地域住民、農漁業者、研究者が主体となり、地域に即した自然再生活動を展開し、今後さらに活動を活発化させることにより、その魅力を全国にアピールしていく。														
[事業内容]														
○三方五湖自然再生事業実施計画に基づき三方五湖の自然の保全、再生、活用を行う														
①負担金対象者 三方五湖自然再生協議会														
②負担金額 2,000千円 (事業総額 8,000千円 (国1/2、県1/4、若狭町1/8、美浜町1/8))														
②活動内容 水田養魚による水産資源の確保、魚道・退避水路の整備、ヒシの管理、特定外来種等の駆除、カヤ田の保全再生の支援、環境教育等														
○あわら市、農漁業者、地域住民、大学研究者が共働して北潟湖の自然の保全、再生、活用を行う														
①負担金対象者 北潟湖の自然再生に関する協議会														
②負担金額 2,000千円 (事業総額 8,000千円 (国1/2、県1/4、あわら市1/4))														
②活動内容 観察会やフォーラムの開催による自然の魅力の発掘、北潟湖の水産資源（シジミ等）の調査、外来種駆除等 自然再生法に基づく自然再生協議会の設立に向けた準備（北潟湖の自然再生を進める実施計画案づくり）														
[受益者] 三方五湖周辺の住民、北潟湖周辺の住民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業 (実績) [三方五湖] ・法定協議会「自然再生協議会」の設立 (H23.5) ・自然再生フォーラムや観察会等の開催、カヤ田の保全、ヒシ刈り等の実施 (H25～H27) ・ヒシの管理指針の作成 (H27) ・水田養魚のマニュアルの作成 (H27) [北潟湖] ・北潟湖の自然再生に関する協議会」の設立 (H25) ・水田魚道の設置、魚類の育成効果を検証、地域の子供対象の魚観察会 (H25～H27)、フォーラム・エクスカージョンの開催 (H27)					市町との連携状況		三方五湖自然再生協議会では、若狭町と美浜町が県とともに事務局を担い、負担金を拠出している。 北潟湖の自然再生に関する協議会では、あわら市が事務局を担い、県とともに負担金を拠出している。					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
[三方五湖] ・ヒシの管理指針に基づきヒシの効果的な管理手法の開発を実施 ・三方湖産の魚類を増やす水田養魚マニュアルに基づく養魚の実施 ・三方湖の外来魚駆除の検証結果により効果的対策方針に基づき外来種駆除を実施 [北潟湖] ・地域の自然再生団体による活動が活発化を図るフォーラムを開催 ・地域の自然の魅力を探るエクスカージョンを実施								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								■ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## 三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	三方五湖自然再生協議会、北潟湖の自然再生に関する協議会					事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	
事業実施方法	負担金						□ 法定受託事務			□ 補助金			H28 年度 経過年数 3 年
補助率	1/4						■ その他			■ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	4,000			(繰入) 4,000		自然保護基金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		3,538	3,184	3,000	3,000	4,000	北潟湖の自然再生全体構想策定に係る費用の増						
2月現計予算額の推移		3,538	3,091	3,000	3,106								
決算額の推移		3,538	3,091	3,000									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	協議会の開催	(目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	三方五湖自然再生協議会全体会の開催(1回/年) 北潟湖の自然再生に関する協議会(4回/年)※北潟湖では法定協議会の設立を目指し、活発な協議が必要。						
		実績	5	7	5								
活動指標	自然再生活動数	(目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	三方五湖 18回(各6部会×3回/年)開催 北潟湖 2回/年開催						
		実績	19	14	25								
他県の状況	滋賀県琵琶湖 「内湖再生全体ビジョン(平成25年3月作成)による自然再生の推進 島根県・鳥取県中海 「中海自然再生実施計画(平成24年3月作成)による自然再生の推進 自然再生の推進(中海自然再生協議会(H20.11)作成)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方湖のヒシ対策事業 (役割分担)  三方五湖自然再生協議会においてヒシ刈りの実施試験を行い技術を確立。確立した技術等を用いて、ヒシ対策事業において重点的にヒシ刈りを行う。ヒシのモニタリングについては、引き続き三方五湖自然再生協議会で行う。					

## 三方湖のヒシ対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎	
事業主体	福井県					事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]					関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]				
[事業目的] 三方五湖の最上流部に位置する三方湖において、近年、湖面をほぼ埋め尽くすほどにヒシの分布が拡大している。三方湖のヒシ発生に伴い、漁業のための航路阻害や湖辺に堆積するヒシの枯死体から発せられる悪臭などの社会的問題、ヒシの群落内における水中の貧酸素化による生態系の悪影響、湖景観への悪化を解消するため、ヒシの刈取りを実施する。												
[事業内容]          三方湖において、ワイヤー刈り（5～6月）、機械刈り（7～8月）を実施												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 三方湖のヒシ対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	18,052	14,441			3,611	電源交付金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移						18,052										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	(目標) 実績															
活動指標	(目標) 実績															
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖自然再生事業 (役割分担) ヒシの適正管理を行う手法開発として、平成25年から平成27年において、ヒシ刈り専用船によるヒシ刈り実施試験の成果として「ヒシ対策ガイドライン」を作成。平成28年度からは、ワイヤー刈りによる低コストで効果的な管理手法の実証研究を実施。平成29年度から、ヒシの繁茂状況について継続的にモニタリングを行っている。									

## SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]					関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]											
[事業目的]																			
<p>福井・石川両県知事の共同代表のもと平成25年9月に発足した「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を「SATOYAMAイニシアティブ」の理念を国内で共有するプラットフォームとして位置付け、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利活用を「国民的運動」へと展開する。</p>																			
[事業内容]																			
<p>①～③を通し、県内と他県の子どもたちの間で、「里遊び」を軸にした相互交流、ネットワークを構成する自治体の教員や里山里海湖研究所の活用を促進する。</p> <p>①国内におけるSATOYAMAイニシアティブの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市圏における参加団体共同による活動の発信</li> <li>・先進的な活動事例の認定や表彰制度の構築</li> </ul> <p>②里山等地域の保全や利活用に関する成果の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体の情報発信や集いの場としてシンポジウムの開催および情報誌の発行</li> </ul> <p>③SATOYAMAづくりに関する対話と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体の課題やニーズに応じたワーキンググループ等の開催</li> <li>・活動の裾野拡大や質的向上を図るための有効な方策の検討</li> </ul>																			
[受益者] SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況													
[事業の評価]																			
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点					事業評価											
石川県で里山里湖での保全活動の現地視察やセミナーを行い、ネットワーク参加者どうしの交流、情報交換を図った。また、東京で開催された日本最大級の環境展示会で福井県の里山里海湖の保全活動やネットワーク活動を全国に発信。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

## SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	707			(繰入) 707		自然保護基金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		/	1,350	768	691	707								
2月現計予算額の推移		/	1,350	768	691									
決算額の推移		/	942	638										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク参加団体数 (目標)	(103)	(105)	(107)	(109)	(111)	新規登録団体 2団体/年							
	実績	103	106	106										
活動指標	セミナーの開催 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	年2回の総会に合わせ、会員の勉強会を開催							
	実績	2	4	2										
他県の状況	・石川県と共同でSATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークを運営。石川県も同等の金額を予算計上予定。 ・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークに参加している他県もセミナーや現地視察等のイベントに参加。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度							
事業実施方法	補助金																		
補助率	10/10																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 元気な里山里海湖 ]			関連する県の計画等			[ 環境基本計画 ]											
[事業目的]																			
地域と小学校、里山里海湖研究所が共働し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちが地域の自然再生団体とともに継続的に身近な生きものの調査・保全活動を行う。																			
[事業内容]																			
<p>(1) 実施校 平成27年度 実施小学校14校 平成28年度から 実施小学校21校(7地区それぞれ1校追加)</p> <p>(2) 調査対象および内容 「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査を実施してきた21校のうち、地域の宝となる希少な生物(県絶滅危惧種)を含む生き物の調査と保全について、地元の自然再生団体の協力を得なければ継続的に実施することが困難な活動を対象 (例) シャープゲンゴロウモドキ(昆虫)、ミチノクフクジュソウ(植物)、タマシギ(野鳥)など</p> <p>(3) 支援内容 ○補助対象 自然再生団体 10団体 ○補助内容 ・身近な生き物調査と保全活動および小学校での観察会の開催経費 ・自然再生支援隊の派遣 ・生きもの観察調査資機材への助成 ・生き物の生息環境整備に必要な資機材</p>																			
[受益者] 県内小学校児童						[想定される受益者数] 年間800人													
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 身近な生きもの生息環境調査事業 (実績) 県内7ブロックごとに、身近な生きもの調査をするモデル校を指定し、トンボ、メダカ、積雪量の共通調査と学校独自の学校別調査を実施。 県内8小学校(302人)が参加					市町との連携状況		・市町教育委員会との連絡										
[事業の評価]																			
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価												
県小教研7ブロックにおいて、それぞれ3校ずつ合計21校で実施。 調査票の設計や調査のコーディネートを行うことで、継続的な調査・保全活動が行えるようなシステムを構築			平成27年度からの3か年かけて、合計21校が身近な自然を調査し、保全活動を行った。観察資材(図鑑や観察道具等)も確保され、今後は、生き物百葉箱の事業の中で自然再生支援隊による講師派遣によって継続が可能となった。 生息環境整備や観察場所の維持管理については、学校の環境学習の範囲を超えた業務となることから、補助対象を学校から地元の自然再生団体へ変更し、生息環境整備と環境学習を合わせて自然再生団体が主体となって実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額									
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,497									
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他										

## 「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助金												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,000			(繰入) 2,000				自然保護基金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		/	3,417	4,548	4,497	2,000	講師の派遣費用を別事業と統合し、予算を縮減						
2月現計予算額の推移		/	3,417	3,502	3,331								
決算額の推移		/	2,236	3,070									
前年度までの 主な増減理由	27→28：実施校の拡大（14から21校）による増 29～：調査票作成に係る委託料の減												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	参加児童数	(目標)	(500)	(800)	(800)	(800)	H26年度身近な生きもの生息環境調査事業8校302人参加 302÷8≒38 38×14≒500、38×21≒800						
		実績	1,110	1,455									
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(14)	(21)	(21)	(21)	県内7ブロックから選定（7ブロック×1ブロックあたり3校）						
		実績	14	20									
他県の状況	・単発的に生きもの調査等を主催して実施している県はあるが、生きもの調査・保全活動の継続を目的に事業を実施している県はない。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 自然再生ふくい行動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 元気な里山里海湖 ]			関連する県の計画等			[ 環境基本計画 ]							
<p>[事業目的]</p> <p>かつてはどこにでも見られた身近な動植物が、近くの小川や田んぼ、家のまわりなどで再び見ることができるよう、県民一人ひとりが身近な自然を守り育む県民活動を推進する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>自然再生支援隊の派遣                      地域、団体、学校、企業等が行う里地里山の保全活動、自然環境保全活動、生き物調査などの技術的な指導や助言を行うため、専門家を派遣し、活動をサポートする。                      [派遣回数] 100回/年</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
<自然再生ふくい行動プロジェクト> ○プロジェクト参加登録数：179団体・44個人 ○自然再生支援隊派遣回数：12回  <いきもの百葉箱> ○登録数：169団体 計5,195人 ○講師派遣：31回								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 自然再生ふくい行動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	646			(繰入) 646		自然保護基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		646	646	646	646	646										
2月現計予算額の推移		646	646	646	646											
決算額の推移		546	550	488												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	いきもの百葉箱・ プロジェクト登録人数	(目標) 実績	17,409	18,530	(19,000) 19,004	(19,500)	(20,000)	新規登録者 500人/年								
活動指標	いきもの百葉箱・自然再 生支援隊講師派遣回数	(目標) 実績	49	56	(100) 55	(100)	(100)	講師派遣回数 100回/年								
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

## 実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[	元気な里山里海湖	]			関連する県の計画等	[	福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画	]									
[事業目的]																			
年縞や豊かな自然環境など、本県が誇るべき里山里海湖による恵みの価値を再認識し、生物多様性の確保と福井の豊かな暮らしの承継につなげるため、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																			
[事業内容]																			
4名の研究者が、以下の分野において、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																			
	研究項目	研究内容								研究員									
	環境考古	年縞を基に、過去の気候と人の暮らしの関わりを解明し、これからの生活に活かす研究								北川 淳子									
	保全生態	里山里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究								石井 潤									
	里地里山文化	里に伝わる伝統的な技、文化、習俗等の資料を収集・整理し、県民の生活に活かす研究								中村 亮									
	森里海湖連環	森里海湖連環を守る伝統的知識の評価および衰退した里海湖資源の保全に関する研究								宮本 康									
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況		研究の実施において、市町関係施設等との連携を図っている。											
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価											
これまでの研究成果についての県民および各地域への発表会の実施および、地域における協議会等への参加などを通じて、研究成果の地域への還元に取り組んでいる。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

## 実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
補助率	—								□ その他			経過年数 5 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,806			(繰入) 7,806		自然保護基金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		12,000	11,955	8,764	9,466	7,806							
2月現計予算額の推移		12,000	10,108	8,764	9,466								
決算額の推移		11,960	9,064	8,375									
前年度までの 主な増減理由	(27⇒28) 外部研究者と連携した外部資金の活用や、備品等の初期投資の減少により予算額を縮小 (28⇒29) データ分析や成果報告資料の作成等にかかる費用の増加												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						5年間の研究期間の途中年度毎に研究成果を数値化することは困難						
活動指標	研究テーマ数 (目標) 実績	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	各研究員が研究項目ごとに研究を行う						
他県の状況	県レベルでの里山里海湖に関する研究を行う組織は他県にはない。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 研究活動発表会

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 元気な里山里海湖 ]			関連する県の計画等			[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]							
<p>[事業目的]</p> <p>研究員が1年間で実施した研究活動の成果を県民に発信するとともに、県民からの意見を今後の活動に取り入れる。 また、発表会の開催に合わせて、里山里海湖保全に関する映画上映会や県内の活動者の事例発表会なども実施し、県民の里山里海湖保全・活用に関する機運を高めるイベントとして実施する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>○事業内容</p> <p>(1) 基調講演 里山里海湖保全の第一人者に講演を依頼  (2) 研究発表 4名の研究員が1年間の研究活動の成果を発表  (3) 活動者表彰 里山里海湖の保全再生に頑張る団体等の表彰および活動内容の発表  (4) 映画上映 里山里海湖保全に関連する映画を上映  (5) 里山里海湖体験ブース 里山里海湖の暮らし・遊びを体験できるブースを設置  ※各研究員ごとの研究活動発表は別途行う(研究推進費対応)</p> <p>○実施時期 平成31年3月(予定)</p>															
[受益者] 一般県民						[想定される受益者数] 200人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
28年度：参加者144名 ・所長講演「福井県域の魅力と里山文化園」 ・水月湖年縞特別講演 中川毅氏(立命館大学国光学研究センター長) ・ふくい里山里海湖活動表彰 ・里山里海湖研究発表 ・映画「うみやまあひだ」上映 ・水月湖年縞紹介コーナーの設置								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 研究活動発表会

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎				
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			5 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	986			(繰入) 986		自然保護基金									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点								
当初予算額の推移		380	1,028	1,029	1,013	986									
2月現計予算額の推移		380	1,028	1,029	1,013										
決算額の推移		353	956	1,020											
前年度までの 主な増減理由	・平成27年度より発表会の開催に合わせて、里山里海湖保全に関する映画上映会や県内の活動者の事例発表会なども実施し、県民の里山里海湖保全・活用に関する機運を高めるイベントとして実施することとした。														
[成果指標等の推移]															
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	開催回数	(目標) 2	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)									
		実績													
活動指標	県民参加者数	(目標) 280	(200) 146	(200) 144	(200)	(200)									
		実績													
他県の状況	里山里海湖専門の研究機関はない				関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 「ふくい生きもの歳時記体感」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		〔 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 〕								
[事業目的]															
<p>人の営みや生きものが季節に応じて移ろう様子を表す二十四節気などに見られる福井の生きものや気候などを、県民が参加して調査することにより、「身近な自然を発見」し、「人の営みと自然との関係」を体感することで、福井の里山里海湖の素晴らしさを県民自らが語り、次世代につなげる。</p>															
[事業内容]															
(1) 調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民が年間を通じ、その時季ならではの生きものや体験を記録し、随時ホームページやFAX等で里山里海湖研究所に報告</li> <li>・ 小学校4年生を対象に「身近な生きもの観察シート」を配付し、上記の記録・報告を促進</li> <li>・ 中学校理科教員全員を研究所の研究推進員に委嘱し、生きもの等の調査を実施</li> </ul>														
(2) 周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「身近な生きもの観察シート」、「生きもので感じる福井の季節」を配付</li> <li>・ 研究所ホームページ、県広報誌等で周知</li> </ul>														
(3) 活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究所ホームページで公開し、県民が季節ごとの福井の自然を楽しみ、学ぶ</li> <li>・ 調査結果を研究推進員がそれぞれの学校で環境教育に活用</li> </ul>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
県民向け「福井の生きもの歳時記シート」(4季)、小学校4年生向け「身近な生きもの観察シート」(4季)を配布。 研究所のホームページに追加した「福井の生きもの歳時記」ページで、投稿のあった情報を随時公開。 中学校理科教員231名を研究推進員に委嘱し、季節の生きもの調査等に参画。				「生きもので感じる福井の季節」という通年のシートを作成することとし、県民に、季節の移ろいを感じてもらう。「福井の生きもの歳時記シート」(4季)は実施しない。理科の授業で季節の生きものを取り扱う小学校4年生対象の生きもの観察シートを配布する。 季節ごとの生きもの観察・報告会は、研究所の特別企画と兼ねて行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 「ふくい生きもの歳時記体感」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,123			(繰入) 2,123			自然保護基金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		/	3,236	2,306	2,294	2,123							
2月現計予算額の推移		/	3,236	2,306	1,723								
決算額の推移		/	3,092	1,945									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H27→H28はホームページ作成にかかる経費の減少による。</li> <li>・ H28→H29歳時記シート見直しによる減額</li> </ul>												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	報告件数 (目標)		(300)	(600)	(800)	(1,000)	50件/月×12月=600件 (※27年度は6か月) 29年度以降は県民への浸透による増						
	実績		385	768									
活動指標	観察シート等の配布 (目標)		(1)	(4)	(4)	(4)	季節ごとに作成し、配布することにより事業の周知と気運の高まりを目指す。						
	実績		1	4									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 無</li> <li>□ 有 事業名 (役割分担)</li> </ul>						

## 「福井ふるさと学びの森」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]								
[事業目的]															
<p>里山を大切に思う人づくりを進めるため「福井ふるさと学びの森」を設置し、里山での体験活動を通して人の暮らしと里山との関わりを学ぶことのできる、体験プログラムを実施する。また、各市町の中高生世代であるジュニアリーダー等に学びの森の運営支援員としてイベントに参加してもらい、参加する小学生に対し安全面等での支援を行う他、中高生世代にも里山の重要性についてイベントを通して学んでもらう。</p>															
[事業内容]															
<p>○学びの森 若狭エリア の運営  場所： 若狭町気山（民有林）  内容： ・一般県民を対象とした年間体験プログラムの実施（3回）  ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（3回）  ・里山林の保全作業の実施</p> <p>○学びの森 あわらエリア の運営  場所： あわら市波松（民有林）あわら市北潟（国有林）  内容： ・一般県民を対象とした年間体験プログラムの実施（3回）  ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（3回）</p> <p>※ 奥越エリアは自然保護センターで、「四季の観察シリーズ」とタイアップして実施。</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 450人									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (実績)  若狭町気山で長期間放置され荒廃が進んでいた民有林を借りて「福井ふるさと学びの森」を開設。8回の体験イベントを実施し、241人が参加。					市町との連携状況								
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
平成29年度 イベント10回開催で315名参加（1回あたり31.5名） あわらエリア参加人数123名（3回）※1回は雨天により中止 若狭エリア 参加人数 73名（3回） 奥越エリア 参加人数119名（4回）			若狭エリア、あわらエリアにおける各イベント回数を5回から3回にし、経費を縮小した。体験活動の実施は継続して行う。 また、各イベントには各市町の中高生世代であるジュニアリーダー等が参加がする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 913					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 「福井ふるさと学びの森」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎						
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営						□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—																
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,512				(諸) (繰入) 9 2,503			(諸)参加者実費負担分、(繰入)自然保護基金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移			/	5,488	4,310	3,425	2,512	各エリアにおける主催イベント回数を5回から3回に減らし予算額を縮減									
2月現計予算額の推移			/	5,488	4,310	3,425											
決算額の推移			/	5,089	4,306												
前年度までの 主な増減理由		・若狭エリアはH28で森林整備が終了（今後維持修繕のみ）となるため、予算額が減少															
[成果指標等の推移]																	
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	イベント参加者数	(目標)	(500)	(510)	(450)	(450)	(270)	H28～ イベント参加者30名×15回（若狭5回、あわら5回、奥越5回） H30～ イベント参加者30名×9回（若狭3回、あわら3回、奥越3回）									
		実績	590	628	448												
活動指標	開催回数	(目標)	(8)	(17)	(15)	(15)	(9)	H28～ イベント15回（若狭5回、あわら5回、奥越5回） H30～ イベント9回（若狭3回、あわら3回、奥越3回）									
		実績	8	17	15												
他県の状況							関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「ふるさと学びの森」ネットワーク事業 （役割分担）  当事業では、県が主体的に進める活動のモデル作りを目的に取り組み、ネットワーク事業では、県内の活動者の支援やレベルアップの機会を提供することによる活動の県内広範囲にわたる浸透を目的に取り組む。								

## 「福井ふるさと学びの森」ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]								
[事業目的]															
県内で自然体験活動を行う活動団体をネットワーク化し、活動場所を学びの森として登録。登録団体の活動を支援し、ネットワーク化を図ることにより、活動の全県展開を図り、県民が気軽に里山に触れ親しむ機会を増やす。															
[事業内容]															
<p>(1) 「福井ふるさと学びの森」の全県展開</p> <p>①里山での体験活動に取り組んでいる団体等と活動場所を登録し、「福井ふるさと学びの森」として活動を展開</p> <p>②学びの森での活動をまとめたパンフレットの作成、ホームページでの情報発信を通じて、活動を広く情報発信</p> <p>(2) 学びの森登録団体への支援</p> <p>①登録団体への技術的な指導や助言を行うため、活動の専門家を講師として派遣</p> <p>②森林保全活動の促進や学びの森活動の安全性向上のために必要となる資機材の無償貸与を行う。</p> <p>③安全性の向上のための合同研修会を開催 (NPO法人自然体験活動推進協議会への委託)</p>															
[受益者] 一般県民、活動者						[想定される受益者数] 年間1,200人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)		事業名			市町との連携状況		市町が主体的に取り組む活動場所も登録しており、連携した活動を実施。							
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
平成28年2月に登録した県内30か所の学びの森活動に参加する県民の安全確保および参加機会の充実のため、安全講習会の実施、活動にかかる機材等の無償貸与を実施。			継続して安全講習会や活動にかかる機材等の無償貸与を実施し、登録団体のイベント参加者数の増加につなげる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 「福井ふるさと学びの森」ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,647			(繰入) 2,647				自然保護基金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		/	7,966	3,568	2,685	2,647							
2月現計予算額の推移		/	7,966	3,568	2,685								
決算額の推移		/	7,860	3,455									
前年度までの 主な増減理由	H28 整備活動に必要となる資機材（ウッドチップパー、薪割り機等）の購入経費分の減少、登録団体への研修会の実施など増加 H29 活動の安全面を支援する資機材（AED、業務用無線等）の購入経費分の減少												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	登録団体実施のイベント参加者数 (目標) 実績		—	(1,200) 6,971	(1,200)	(1,200)	登録団体数30×年間2回イベント開催×平均20人参加						
活動指標	ネットワーク登録団体数/登録団体開催イベント数 (目標) 実績		(17) 30	(60) 145	(60)	(60)	H27 登録団体数（各市町1団体以上の登録を目標） H28～各登録団体平均年2回以上のイベント実施						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「福井ふるさと学びの森」事業 （役割分担）  当事業では、県が主体的に進める活動のモデル作りを目的に取り組み、ネットワーク事業では、県内の活動者の支援やレベルアップの機会を提供することによる活動の県内広範囲にわたる浸透を目的に取り組む。					

## 里山里海湖リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		〔 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 〕												
[事業目的]																			
地域で頑張る自然再生団体等のレベルアップを図るため、自然再生団体の指導者等を対象とした里山活動のトップクラス講師による連続講座を実施する。																			
[事業内容]																			
県内で里山里海湖の保全・再生・活用に取り組む活動者を対象として、県外からの先進的な事例等を学ぶ講座を開催する。																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○開催回数 年3回</li> <li>○会場 福井市内（アオッサ）</li> <li>○受講者 自然再生団体の指導者等</li> <li>○受講人数 各回40名</li> <li>○内容 里山里海湖の保全・再生・活用に関する座学講座</li> </ul>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況													
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価											
里山里海湖における生物多様性の保全や、地域資源の活用などをテーマとした連続講座を実施し、218人（5回）参加。				参加者からのアンケート結果等を基に、テーマを絞り、より実践的な内容の講座とする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 172								
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

## 里山里海湖リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	259			(繰入) 259		自然保護基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		302	394	431	431	259	講座回数を5回から3回に減らし、予算額を縮減									
2月現計予算額の推移		302	394	431	431											
決算額の推移		301	393	415												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	講座参加者数	(目標) (160) 実績 136	(200) 172	(200) 218	(200)	(120)	講座1回あたり40人									
活動指標	講座実施回数	(目標) (4) 実績 4	(5) 5	(5) 5	(5)	(3)										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

## 里山里海湖活動者表彰

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		〔 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 〕								
<p>[事業目的]</p> <p>地域で頑張る自然再生団体等の里山保全・再生・活用に関する活動を幅広く表彰し、県が活動者を積極的に後押しすることにより、県内の里山里海湖保全・再生・活用に関する活動機運の醸成を図る。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>○表彰対象 県内の里山里海湖を「守る・学ぶ・活かす・伝える」活動に取り組む地域団体、NPO、学校、企業など</p> <p>○表彰者数 7団体程度</p> <p>○表彰実施時期 年度末に開催する研究発表会と同時開催を想定</p>															
[受益者] 活動者（一般県民）						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		表彰団体候補に関する照会をかけ、市町長から候補者を推薦							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
県内の里山里海湖の保全・再生・活用に取り組む6団体を表彰				27年度、28年度の実績を踏まえ、表彰者数を10団体から7団体に見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 67				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 里山里海湖活動者表彰

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	162			(繰入) 162		自然保護基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		218	229	229	229	162	27年度、28年度の表彰実績を踏まえ、表彰者数を10団体から7団体に見直し予算額を縮減									
2月現計予算額の推移		218	229	229	229											
決算額の推移		210	165	198												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	表彰団体数累計	(目標) 7	(17) 13	(24) 19	(31) (7)	(38) (7)	県内での里山里海湖の保全・再生・活用等に関する活動の盛り上げを醸成し、多くの活動団体を表彰していく									
活動指標	表彰団体数	(目標) 7	(7) 6	(7) 6	(7) (7)	(7) (7)										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

## 里山里海湖人の営み体験講座（ふくい里山文化園）

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営・委託														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]								
[事業目的]															
<p>里山里海湖研究所の来所者に対し、地域のお年寄り等を講師に里山里海湖の伝統的な人の営みを題材とした気軽な体験メニューや周辺の自然環境を活かした体験メニューを提供し、里山里海湖の魅力を幅広い世代に伝える。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 里山里海湖研究所にて予約なしでも来所者が気軽に体験できるメニューを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○受講者 一般（県外者含む）40名程度（土日・祝 1日あたり）</li> <li>○開催日 土曜・日曜・祝日（年末年始を除く）</li> <li>○場 所 里山里海湖研究所 展示・里遊びコーナー</li> <li>○内 容 お手玉作り、竹笛づくり、杉玉鉄砲など</li> <li>○講 師 公益社団法人若狭町シルバー人材センターより地域のお年寄りを派遣</li> </ul> <p>(2) 時節に応じた特別企画を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年縞博物館のオープンに併せて、現施設から年縞博物館周辺の自然環境を活かした植樹や湖の体験メニューなど、来所者が縄文ロマンパーク一帯を里山文化園として体感することができる企画を実施する。</li> <li>○時 期 ゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク、冬休み 等</li> <li>○場 所 里山里海湖研究所および縄文ロマンパーク周辺</li> </ul>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
研究所内だけでなく、研究所周辺および縄文ロマンパーク内の自然観察メニューを新設。（「三方湖畔生きもの観察ツアー」里山里海湖相談員の各得意分野に重点を置いたツアーを実施。） 28年度の来所者数は15,812人（前年度同期間12,865人）であり、県内外からの来所者数は年々増加している。			来所者数の増加を目指し、時節に応じた特別企画を開催する。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 里山里海湖人の営み体験講座（ふくい里山文化園）

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営・委託													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,379			(繰入) 861	518	自然保護基金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		80	1,907	861	861	1,379	時節に応じた特別企画の開催経費を増額							
2月現計予算額の推移		80	1,907	861	861									
決算額の推移		80	1,422	850										
前年度までの 主な増減理由	(27⇒28) 27年度に若狭町シルバー人材センターと連携し事業を実施したことにより、安価に事業実施が行えたため、28年度予算額を縮小													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来所者数 (目標)	(3,000)	(6,000)	(10,000)	(15,000)	(15,000)	展示・体験メニューの充実を図り、来所者数の増加を目指す							
	実績	5,326	12,865	15,812										
活動指標	実施体験メニュー数 (目標)	(8)	(12)	(14)	(16)	(18)	里山の自然素材を使った体験メニューについて、年々拡大を目指す							
	実績	8	15	16	17									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 全国里山里海湖関連フォーラム等誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	学校の森・子どもサミット実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]						
[事業目的]													
<p>県外から参加者が集まるフォーラムや研修会などの開催を誘致し、全国の研究者や活動者に対し福井の里山里海湖の魅力を発信するとともに、県内活動者等との交流によるネットワークの拡大や先進的な知見・技術の取り込みにつなげる。</p>													
[事業内容]													
<p>○学校の森・子どもサミットの開催 [800千円]</p> <p>①開催日 平成30年7月30日(月)、31日(火)</p> <p>②開催地 &lt;1日目&gt;アオッサ県民ホール(発表会)、福井ふるさと学びの森若狭エリア(体験活動)、三方青年の家(宿泊) &lt;2日目&gt;久々子湖(体験活動)</p> <p>③内 容 &lt;1日目&gt;小学生活動発表、基調講演(教師、保護者)、森の体験活動(児童) &lt;2日目&gt;湖の体験活動</p> <p>④主 催 平成30年度学校の森・子どもサミット実行委員会</p> <p>⑤参加者 発表校/全国から10~12校参加 聴講者/約200名(発表校含む)</p>													
[受益者] 小中学校の教員、小学生						[想定される受益者数] 200人							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		1日目を福井市教育委員会の教員研修として位置付けて実施する。					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
自然再生学会を開催し、県外27名、県内52名が参加(6/24)。さらにエクスカッションを開催し、39名が参加(6/25)。				30年度は新たに「学校の森・子どもサミット」を誘致する。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								■ 継続	□ 休止	□ 完了			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## 全国里山里海湖関連フォーラム等誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	学校の森・子どもサミット実行委員会					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	800				800								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移			995	1,414	1,469	800	平成30年度は負担金のみとし、経費を縮小した						
2月現計予算額の推移			995	1,414	1,469								
決算額の推移			968	1,410									
前年度までの 主な増減理由	平成29年度は自然再生学会の開催に伴う、会場使用料、印刷製本費が増加												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	イベント参加者数 (目標)	/	(150)	(150)	(200)	(200)	H30年度：学校の森子供サミット参加者数（200名）						
	実績	/	177	126									
活動指標	開催回数 (目標)	/	(2)	(2)	(2)	(1)	H30年度は学校の森子供サミットを誘致。						
	実績	/	2	2									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 元気なふるさとの里山整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎		
事業主体	ふるさとの里山整備団体				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	10/10													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]							
[事業目的]														
地域住民と企業社員や学生等が協力して、荒廃する里地里山の整備・保全を行うことにより、地域の里地里山の環境を向上するとともにとともに、地域活動を活性化させる。														
[事業内容]														
①里山整備希望地区の調査・募集 ②地区の整備活動を希望する企業・学生の募集 ①、②ともチラシ作成、HP掲載、職員が候補地区、企業等を訪問し、調査、説明 ③整備計画の作成 ・自然再生士、自然再生支援隊の派遣、応援団体代表者の会合参加旅費 ④里山の整備 ・整備に必要な原材料費、重機リース代、オペレーター人件費等への補助金 ・自然再生士、自然再生支援隊の派遣 ・参加企業・学生等の移動旅費、保険料 ⑤整備後のフォロー ・参加企業等および整備集落住民の意見を整備効果とともにHPで公開														
[受益者] ふるさとの森整備団体（整備集落地区）						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 元気なふるさとの里山整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	ふるさとの里山整備団体					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H34 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	480	240			240	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						480							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	企業等参加団体数 (目標) 実績					(1)	H30は1団体参加						
活動指標	活動地区数 (目標) 実績					(1)	H30は1地区で実施						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 「里山里海湖」研究・活用推進事業（運営費）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン	[ 元気な里山里海湖 ]	政策	[ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]	関連する県の計画等		[ 福井県里山里海湖研究所中期計画、環境基本計画 ]						
[事業目的]													
里山里海湖研究所の活動を行うために必要となる、人件費や施設運営にかかる経費を計上する。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究所所長、研究アドバイザーにかかる費用（報償費、旅費）</li> <li>・ 嘱託職員にかかる費用（賃金、共済費、通勤旅費）</li> <li>・ 施設管理にかかる費用（光熱水費、通信運搬費）</li> <li>・ 公用車にかかる費用（公用車リース料、燃料費） など</li> </ul>													
[受益者]						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
研究所の活動がスムーズに執行できるよう、適切な管理運営を行うことができた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

「里山里海湖」研究・活用推進事業（運営費）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,845			(諸) 1,647	20,198	被保険者個人負担分						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移	28,754	20,348	21,497	26,108	21,845	副所長人件費の減額						
2月現計予算額の推移	28,754	19,865	27,199	19,796								
決算額の推移	28,716	19,550	26,236									
前年度までの 主な増減理由	(26⇒27) 生き物調査事業(1,000千円)の事業化による減 (26⇒27) ホームページ構築分の減少 (27⇒28) 職員旅費の計上を行わないため減少 (27⇒28) 公用車リース等の長期継続契約締結による減少 (28⇒29) 副所長人件費追加による増額											
[成果指標等の推移]												
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標)					研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可						
	実績											
活動指標	(目標)					研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可						
	実績											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## ビジターセンター整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]								
[事業目的] 里山里海湖研究所の年縞博物館への移転に合わせ、現在使用している縄文プラザ2階を再整備し、里山里海湖研究所のビジターセンターとして活用する。また、相談員の案内により年縞博物館、縄文博物館、海浜自然センター等の周辺公共施設に誘導するとともに紹介コーナー等も設置し、縄文ロマンパーク一帯の情報発信拠点とする。															
[事業内容]  (1) ビジターセンター整備（縄文プラザ再整備） ①自然観察コーナー カウンター整備工事 ②動植物観察用望遠鏡 ③相談員用プリンタ（複合機） ④パンフレットスタンド  (2) 里山里海湖研究所の年縞博物館への移転 ①事務所備品等、移転委託費用 ②コピー機移設費用 ③縄文プラザ 吊戸取り外し、取り付け費用															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## ビクターセンター整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,134				1,134								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						1,134							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可						
活動指標	(目標) 実績						研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 「年縞」活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営			経過年数						4 年		
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]					
[事業目的]												
水月湖「年縞」を教育・観光などに有効に活用するため、年縞博物館の整備を進め、国内外における年縞研究の推進を図る。												
[事業内容]												
(1) 年縞博物館の整備 (27～30年度) 建築・展示実施設計 等 (27～30年度) 事務備品の整備 (30年度) (2) 年縞の活用 年縞の実物を研究試料として提供 年縞の今後の活用方法等を検討												
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 60,000人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名 「年縞」採取・活用推進事業 (実績)  水月湖湖底から「年縞」を採取し、記録映像や展示用標本の製作、研究展示施設基本計画の策定を行った。					市町との連携状況					
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
・年縞博物館の30年の開館に向け、建築や展示工事を実施 ・共同研究に関する協定による立命館大学との花粉分析研究を推進				・開館に向け、建築や展示工事を引き続き進めるとともに、事務備品の整備等を行う				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 年縞博物館開館記念事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			1 年								
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]					
[事業目的]												
平成30年9月に年縞博物館が開館するに当たり、世界の年縞の研究・教育の拠点として、年縞の魅力を県内外に発信する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開館記念式典の実施（9月）</li> <li>・ 特別企画展の開催（11月）</li> <li>・ 国際シンポジウムの開催（2月）</li> <li>・ サマースクールの実施（夏季休暇等）</li> <li>・ パンフレット等の作成、ミュージアムグッズの製作、ホームページの開設、中学生見学のためのバス代支援</li> </ul>												
[受益者] 県民、考古学や地質学、気候変動等の研究者						[想定される受益者数] 60,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    年縞研究展示施設開館PR事業 （実績）  ・ 29年7月に立命館大学によるサマースクールを実施 ・ 29年9月にPRシンポジウムを開催					市町との連携状況		特別企画展について、隣接する若狭三方縄文博物館（若狭町）と共催。				
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
							<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 年縞博物館開館記念事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	22,090	3,067			19,023	エネルギー構造高度化・転換理解促進補助金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						22,090							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	年縞博物館来館者数 (目標) 実績					(35,000)	60,000人×7月/12月=35,000人 (平成30年度は9月開館予定のため)						
活動指標	(目標) 実績												
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 里山里海湖魅力向上検討事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等			[ 環境基本計画 ]							
[事業目的]															
三方五湖周辺のさらなる魅力向上と誘客を図るため、若狭三方縄文博物館や道の駅と一体となった魅力向上について検討を行う。															
[事業内容]															
若狭三方縄文博物館や道の駅を一体となった魅力向上方策について、有識者を交えて検討会を開催し、検討する。															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山里海湖魅力向上検討委員会の実施</li> <li>・ 調査・検討業務委託</li> </ul>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 60,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況		検討会には若狭町も参加し、魅力向上方策について連携して実施。							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討委員会を2回実施</li> </ul>								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 里山里海湖魅力向上検討事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,439	2,751			688	電源交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移					3,438	3,439							
2月現計予算額の推移					3,438								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	年縞博物館来館者数 (目標) 実績					(35,000)	60,000人×7月/12月=35,000人 (平成30年度は9月開館予定のため)						
活動指標	検討委員会の実施 (目標) 実績				(3)	(2)	開催予定回数						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## タイムスケイプ研究・活用事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]								
[事業目的]															
<p>これまでの年縞研究により得られた知見（鬼界カルデラや中国・北朝鮮国境にある白頭山の噴火の年代、世界的に同時に進行すると考えられていた温暖化や寒冷化の進行に地域差があることなど）の他に、年縞により研究が進んだ文化人類学、火山学、考古学等の最新の知見について情報収集し、年縞の価値を高める研究を推進するとともに、その成果を年縞博物館において紹介することで、年縞の価値を普及し、今後の教育に活用する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 年縞研究と関わりのある世界の最新研究成果の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知見の収集 ・ ・ 年縞により研究が進んだ最新の知見について、論文等から情報収集、整理</li> <li>・ 情報の精査 ・ ・ 世界的に活躍する国内外の研究者にヒアリングを実施</li> </ul> <p>(2) 調査結果を基にした教育への活用【今後の展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年縞博物館における展示として活用</li> <li>・ 研究員による講演会や学芸員によるギャラリートークを実施し、年縞の価値を普及</li> <li>・ 新たな知見を、年縞博物館やその周辺で実際に体感する際に活用</li> <li>・ 企画展や国際シンポジウムのテーマとして活用し、全世界的な年縞研究の推進に寄与 等</li> </ul>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 35,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## タイムスケイプ研究・活用事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,530	1,224			306	電源交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						1,530							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	年縞博物館来館者数 (目標) 実績					(35,000)	60,000人×7月/12月=35,000人 (平成30年度は9月開館予定のため)						
活動指標	(目標) 実績												
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				関連する県の計画等		[ 環境基本計画 ]								
[事業目的]															
センターの活用や来館を促進するため、主催事業や出張講座の内容を紹介したり海や湖に親しんだりする特別企画を開催する。															
[事業内容]															
<p>①探してみよう！海湖（うみ）の宝物 イベント 5月12日（土）・5月13日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者に海岸清掃やゴミの回収・分別に協力してもらい、海湖をきれいにするの大切さを感じてもらう。</li> <li>・回収した漂着物を使い、アート作品にリサイクルして環境保全意識を高める活動を行う。</li> <li>・三方湖やセンター周辺で外来種（ウシガエル・アメリカザリガニ等）の捕獲体験を行う。 等</li> </ul> <p>②大事にしよう！海湖（うみ）の宝物 イベント 11月10日（土）・11月11日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各機関に依頼し、海湖の資源保護や活用に関する講演会やクイズ大会を行う。</li> <li>・若狭湾の魚介類を使用した調理・試食する体験を行う。</li> <li>・若狭湾の海湖（うみ）に関連する資源を活用したクラフト講座を行う。 等</li> </ul>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 10,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・県立大学、水産試験場、各地区教育委員会・小学校、各地区観光協会等との連携 ・若狭町ツーデーマーチ、若狭町祭「若祭」への参加協力 ・H30探してみよう！海湖（うみ）の宝物 イベントのゴミ処理については、ボランティア活動として処理費用を免除（若狭町）							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
・5月13,14日「感じよう！若狭の海湖（うみ）」 6,128人 ・10月14,15日「考えよう！若狭の海湖（うみ）」 4,647人 ・2月25日「冬の海湖（うみ）を楽しもう」 904人								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,626			(繰入) 2,626				自然保護基金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		3,780	2,557	2,557	2,566	2,626							
2月現計予算額の推移		3,780	2,557	2,557	2,566								
決算額の推移		3,780	2,330	2,557									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度はリニューアルオープン記念式典を実施し、これに伴う式典運営、告知用パンフレット印刷等を行ったため、27年度は減額。</li> <li>・27年度はイベント年2回実施が28年度は年3回実施のため、決算額が増額している。</li> </ul>												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	来館者数	(目標) 117,340 実績	(100,000) 122,329	(110,000) 118,849	(120,000)	(120,000)	(120,000)	GW明けに1回目のイベントを開催し、環境保全の啓発をする。来館者の落ち込む冬の前に2回目のイベントを開催し、新しい客層を獲得し、秋・冬の来館者増を図る。					
活動指標	イベント来場者数	(目標) 32,090 実績	(31,000) 15,530	(12,000) 9,418	(10,000)	(10,000)	(10,000)	H30探してみよう！海湖（うみ）の宝物（5,000人）、大事にしよう！海湖（うみ）の宝物（5,000人）※前年度の集客をもとに算出					
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 福井県美浜町きいばす（年2回大型イベント開催、1回当たりの予算100万円程度、1回当たりの来館者約3,000人）</li> <li>(2) 福井県敦賀市あっとほうむ（年8回大型イベント開催、1回当たりの予算100万円程度（広報は別予算）、1回当たりの来館者約10,000人）</li> <li>(3) 福井県坂井市エンゼルランド（年4回大型イベント開催、1回当たりの予算400万円程度、1回当たりの来館者約5,000人）</li> <li>(4) 石川県のとじま水族館（宿泊体験等の企画イベントを実施）</li> </ul> ※どの施設もイベントを開催し、集客を図っている。					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自然体験講座開催事業 （役割分担）  当センターの自然体験講座開催事業について紹介したり、参加の予約を受け付けたりするなど、講座参加率向上を図る。					